

穂穂北に輝く にぎりめし



令和4年度穂北中学校だより

6月号

穂北中HP

校長

伊東 泰彦



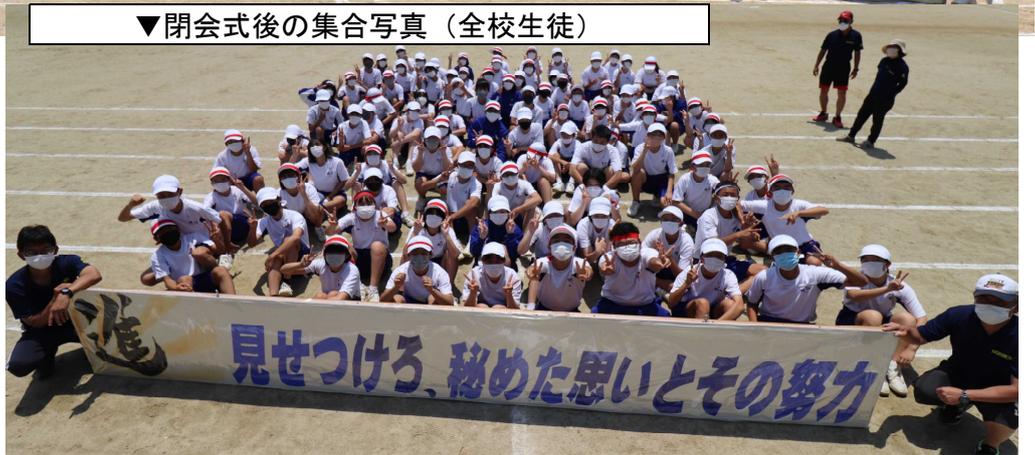
体育大会を5月に初開催しました！

3年生の集合写真です！

団装飾とスローガンは、FreeStaffが制作してくれました！



▼閉会式後の集合写真（全校生徒）



5月22日（日）に第76回体育大会を実施しました。当初予定していた21日（土）が雨天のため、翌日の日曜日に順延しての実施でした。近年の猛暑による熱中症対策や台風の影響を回避する観点か

ら、今年は初めて5月開催となりました。練習や準備の期間は短く、予想もしなかった雨天続きで大変でしたが、リーダーや役員を中心に、スローガンの「見せつける秘めた思いと

その努力」の言葉とおりました。当日は天候にも恵まれ、穂北中らしい活潑とした活気のある大会となりました。生徒の皆さんお疲れ様でした。



オープニング・セレモニー 下水流臼太鼓踊



選手宣誓



市長あいさつ



ソーラン節



エール交換



特選種目



応援



綱引き



リレー



優勝旗授与





「進」という人文字に挑戦しました

保体委員長あいさつ

全校保体委員長 濱砂晃大

穂北中では、今年初めて5月開催に挑戦しました。練習時間が短い中、1年生は、入学してようやく学校生活に慣れてきたばかりの状態でしたが、一生懸命に取り組んでくれていると思います。2年生は、上級生らしく1年生を引っ張り、手本となって行動していると思います。3年生は、最後の体育大会を成功させるため、1・2年生をまとめてしっかり頑張っていると思います。

コロナ禍がおさまっていないので、思うように練習したり声を出して応援したりすることができませんが、そんな中でも楽しく元気に盛り上がっているのが穂北中の良いところだと思っています。

全校生徒で取り組む、下水流白太鼓踊やソーラン節も、短い時間の中でしっかりと覚えてきましたので、それを皆さんに披露しましょう。団対抗の「全員リレー」は、団のみんなが一つにまとまって力を出し合う、一番盛り上がる競技です。団長を中心に、最後まで走り切りたいと思います。

最後にみんなが笑顔で終わり、思い出に残るような、すばらしい体育大会にしていきたいと思います。

第76回・生徒総会！



タブレットを活用した総会の様子

5月6日(金)に第76回の生徒総会を行いました。今回は体育館に参集しての総会です。資料や情報は、すべて一人一台のタブレットを使って共有していききました。生徒会役員もタブレットを駆使してプレゼンや提案・説明などを行っていききました。

執行部や各専門委員会の年間目標が議決されていきましたが、これらはすべて本校の「生徒会マンガラ」に反映されていきます(左ページ参照)。伝統と穂北の良さを発信するための「魅力ある学校」、学力をつけるための「学びに向かう学校」、

花とあいさつによる「明るい学校」、大会や行事を成功させる「元気な学校」などの提案が感じられて承認されていきました。76期の年間スロガンは、決選投票までもつれこみましたが「進」に決まりました。



何事にも進んで挑戦したい、主体性をもって日々前に進んでいくことを大切にしたい、自分見が、この文字に込められていきました。

第76期・生徒会マングラ



案

穂北中では昨年度から、生徒会のスローガン（漢字一文字）を中心に据え、その周りに各委員会の取組を配列する「穂北中生徒会マングラ」を作成しています。

大谷選手が、将来プロ野球で活躍することを目指して高校時代に作成したことで有名になった思考ツール・マングラチャートを参考に、「中心部に高次の抽象化された文字を」「周辺に具体的取組を」配する形式にカスタマイズしています。

マングラチャートの文字が完成したら、学校のシンボルツリー・フェニックス前の看板を張り替えて掲示していきます。楽しみにしてください。



昨年度



校則検討が本格的に 始まります！

穂北中を含む西都市内の全中学校では、R8の学校統合を視野に入れ、本年度よりオール西都での校則検討を本格的にスタートさせます。生徒が主体となり、東京のNPOカタリバや宮崎県弁護士会とも連携して、主権者教育と併せながらのルールメイキングに取り組みます。次の「チャレンジ宣言」は、校則検討に向け、昨年度の生徒会リーダー研修会（12/24）で作成したものです。

オール西都生徒会 『チャレンジ宣言』 （※前文は省略）

- 1 主体性**（※都於郡中が作成担当）
私たちは、西都市の中学校をよりよい学校（社会）にしていくために、自分自身で考え、学び、行動し、みんなが守ることのできる校則づくりに取り組みます。
- 2 合理性**（※妻中が作成担当）
私たちは、校則検討を行ううえで、校則が必要な理由を明確にし、全員が納得できる環境をつくることを目標にします。そして、合理的な視点をもって、よりよい校則づくりに励みます。
- 3 納得性**（※三納中が作成担当）
私たちは、生徒一人一人の個性や人権を尊重し、私たち生徒や先生方、保護者、地域の方など、私たちの教育に関わる全ての方々が納得できる公正公平な校則づくりに取り組みます。
- 4 協働性**（※三財中が作成担当）
私たちは、各学校のよさを生かしつつ、よりよい学校づくり実現のために、生徒・保護者・地域の方がともに協力し合い、責任と役割を果たしながら、西都市内全ての中学校が一つとなって校則づくりに取り組みます。
- 5 透明性**（※銀鏡中が作成担当）
私たちは、校則検討に取り組む目的や結果だけでなくその過程を公にし、生徒や学校だけでなく、保護者や地域の方の意見を取り入れながら、透明性のある校則づくりに取り組みます。

このプロジェクトを通して、私たちは、「未来の社会をつくるのは自分たち」という自覚をもち、よりよい社会づくりに積極的に参加していく態度や、ルールづくりに必要な調整力、対話力などを身に付けていきます。（※穂北中が作成担当）

穂波から壽き田の里

穂北城考

あまり知られてないかもしれないが、戦国時代の伊東四十八城の一つに穂北城(上野城)がある。本校から東の方角に見える茶臼原台地の西端部・NTTアンテナの麓である(写真①)。中世後期の平山城の典型で、三方の天然の崖を利用した標高一二五mに位置する堅城である。この城は伊東氏が島津氏に敗れて豊後へ落ちのびる際に、最初に立ち寄って宿泊した城として有名だ▼この5月、草の生い茂る前にも思い、穂北城址を訪ねてみた(昨年度は立入禁止だった)。自然の地形を利用して、曲輪と曲輪の間の通路や空堀が入り組んでいる(写真③)。前の週に市の図書館で郷土資料を借り、「縄張り図(左下)」を描いたので、木立の中の山道を歩いていてもなんとなく曲輪の位置がイメージできた。イメージを頼りにしばらく下り、そして狭い通路を上ってみると西ノ城公園がぱっと開けて驚かされる(写真③)。

草刈りの後らしく、草の丈はまだ短い。公園内の案内板は朽ちており少し残念。ただし、手すりに上って眼下を眺めてみると、歴史と対峙できそうな不思議な気分になってくる▼南西に都於郡城を望み、眼下には一ツ瀬川が流れているが、ここは当時の古戦場である。天正六年九月の満月の夜、川を挟んで対峙していた島津軍と城内の吉崎加賀守の軍は、決戦前夜、せつかくの名月にちなんで歌を詠み、それをここから矢文にして交歓したという。

「詠めしは同じ雲井の月ながら 川波遠く隔たりし空」↑

「早晩の夜を語り合わさん長月の 月の詠めの隔たりし空」↓
翌朝からの決戦で穂北城は落城し、歴史の舞台から姿を消すことになった。松尾芭蕉の名句はここにもあてはまりそうである。「夏草や 兵つものどもの 夢のあと」【訳】今は夏草が生い茂る場所だが、ここはかつて武士たちが榮譽を求めて戦った戦場である。昔のことは夢となってしまったのだなあ (校長 伊東泰彦)



写真① 学校から見る穂北城



写真③



写真② 西ノ城址の公園



写真④ 城跡から見た穂北地区

決戦前、この場所と一ツ瀬川の向こう側とで矢文が交わされたという

【6月・7月の主な行事】

- 6月**
 4・5・6日…中体連(野球、リフトニス、水泳)
 11・12日…中体連(サッカー、バレ、バド)
 15日…食育の授業⑤
 16日…高校説明会(私立高校)
 17日…中体連(陸上)
 22・23日…3年生実力テスト
 28・29日…定期テスト
- 7月**
 3~5日…修学旅行(2年生)
 4~6日…さいと学(1・3年生)
 12日…参観日・学校保健委員会
 20日…終業式
 21日…生徒会リーダー研修会
 (オール西都・校則検討委員会)

もうすぐ地区中体連です!

中学校部活動の集大成・3年生にとっては最後の大会となる中学校総合体育大会(中体連)が6月4日から始まります。暑さ対策や学校の小規模化・少子化などの影響で、以前と比べると部活動の在り方も変わってきましたが、生徒たちにとって大切な大会であることに変わりはありません。どの部も県大会出場を目指し、とても熱心に練習に励んでいます。ベストパフォーマンスを発揮し、悔いの残らない大会にしてほしいと思います。がんばれ、穂北中!!